

Our ESG

三井倉庫グループのESG

三井倉庫グループは、「グループ理念」に基づき、すべてのステークホルダーとの対話を通じ、企業の社会的責任の取り組みを推進することで、社会とともに持続的に成長する企業を目指しています。

E
(環境)

- 環境マネジメントの推進
- 事業を通じた環境負荷低減/気候変動への対応

S
(社会)

- 労働マネジメントの推進
- サプライチェーンマネジメントの推進
- 人事制度設計と職場環境整備

G
(ガバナンス)

- 指名・報酬委員会の設置
- コンプライアンス
- リスクマネジメント

「ホワイト物流」自主行動宣言書を提出いたしました

三井倉庫グループは、国土交通省等が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言書を提出いたしました。

同運動は、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、そして女性や高齢者なども活躍できる、よりジェンダーフリーで「ホワイト」な労働環境の実現を目指す運動です。グループ全体で26社、計110件の取組み(2019年9月30日現在)を推進することで、持続可能で安定的な物流サービスの確保・発展に貢献してまいります。



三井倉庫グループ

- 参加企業数「**26社**」
- 総取組項目件数「**110件**」

ホワイト物流の期待効果

1. 業界の商慣行や自社の業務プロセスの見直しによる生産性の向上
2. 物流の効率化による二酸化炭素排出量の削減
3. 事業活動に必要な物流を安定的に確保
4. 企業の社会的責任の遂行

※情報出処:国土交通省「ホワイト物流」推進運動HPより

CASBEE(建築環境総合性能評価システム)Aランクの取得



CASBEEのAランクを取得した三井倉庫(株)南本牧倉庫

当グループでは、サステナブル建築として優良とみなされるAランク※評価を5施設で取得しています(2019年3月31日現在)。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用に加え、室内の快適性や景観への配慮等も含め、建物の品質が総合的に高い環境性能であることを示しています。

※ 格付けはSランク(素晴らしい)、Aランク(大変良い)、B+ランク(良い)、B-ランク(やや劣る)、Cランク(劣る)の5段階評価

TOPICS 持続的成長に向けた取組み

ヘルスケア専用物流施設 “関東P&MセンターⅡ(仮称)”新設計画について



物流業務省力化や太陽光発電などによる環境負荷低減に配慮した設計

- 当社グループの成長領域である医薬品・医療機器を中心としたヘルスケア事業の基盤を強化
- 管理薬剤師の配置や多数の業許可ライセンスをベースとしたノウハウの下、高品質なオペレーションをご提供

施設概要

住 所	埼玉県加須市芋荳	環 境 対 応	屋上太陽光発電 (350kw)、 全館LED照明等
延 床 面 積	6,998坪	セキュリティ	全館ICカードによる入退館、 機械警備等
BCP 対 応	免震構造、 自家発電設備等		

竣 工 時 期 2021年6月予定

(※)左図は完成時を想定したイメージイラストとなります。図手前の施設が関東P&MセンターⅡ、図奥の施設は2015年9月竣工、現在稼働中の関東P&Mセンターとなります。

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の最高位取得

三井倉庫ホールディングス(株)は、2019年2月4日に、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づく認定(えるぼし認定)において、最高評価の「3つ星」を取得いたしました。



SDGsプロジェクト 発足

2019年6月にSDGsプロジェクトを発足させ、各事業会社担当者も参加するなど、グループ全体でESG活動を推進していきます。

SDGsプロジェクト会議の様子▶

